

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	健康な食が健康を育む。1人1坪農園（ふれあいガーデン）の推進
事業主体 (連絡先)	松川町・松川町農業委員会 松川町役場 産業観光課
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	644,403円 (うち支援金: 463,000円)

事業内容

- ① 食育・農地を守る講演会 4/13
講師: タネが危ない著者「野口勲 氏」4時間にわたる内容。F1種・固定種について講演。日本各地でそれぞれの土地にあった子孫を残せるタネを育てて、おいしい野菜をつくってくださいと話されました。
- ② 野菜作り番組の制作・放送 DOYOU 農? 4月～全11回放送 牛久保&米山の講師陣より、朝倉&西尾ママコンビが野菜作りを習い、土づくりから体験。
- ③ 市民農園の開放 農地を持たない住民向けに、農地の貸し出しを実施。



【Do you 農? 撮影風景】

【目標・ねらい】

- ① 様々な視点から農業を考える
 - ② 農業を身近に感じてもらう為
 - ③ 実際に野菜をつくってみよう
- 町民1人1人が農ある暮らしで、健康な生活を目指し、将来の遊休農地の解消、地域農業の継続を目指す

※自己評価【B】

【理由】

計画していたように、事業が進められた。学校給食の栄養士の皆さんとも連携が生まれ、11月に試食会も実施された。次年度への取り組みにつなげることができる

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①参加者 70名(町内外から) 託児の利用もあり、子育てママの参加もあり。参加者に種を配布。固定種の栽培に興味をもっていただきました。
- ②月1回の放送で、土づくりや、マルチングの方法など、農家の方でも勉強になる内容。視聴者から農地を借りたいとの問い合わせもあり。
- ③予定では36区画のふれあいガーデンを予定していたが、30区画分の利用となった。Doyou 農? 横の畑ではかぼちゃや、ダイコン、ハクサイ等が栽培され、ダイコンの収穫には町内の保育園児が参加し、栽培者との交流と栽培体験を楽しんだ。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2年目はDo遊農?として、お楽しみを加えた番組の放送をし、野菜作り啓発活動を実施し、当初の計画の通り、給食食材での利用を目的に、環境にやさしい栽培での野菜作りを推進します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある